役者評判記

チ13
3849
106

役者考年表 下

特
チ13
3849
106

チ13
236

松平武元卒
尾上菊五郎 沛
浜村蒲十郎
尾上菊五郎 沛
松平武元卒
坂東九蔵 義
岡田 忠 六
大谷廣治 義
坂東義平
浜村金三郎
市川團九郎
尾上扇八
坂東薪八

門 子 13
巻

上上　松本屋八

上上吉　尾上梅幸

上上吉　市川術車

上上吉　市川宗兵衛

上上吉　尾上梅玉

上上吉　松本幸四郎

上上吉　市川三升

上上吉　尾上三蔵

上上吉　尾上松助

上上吉　中村芝雀

上上吉　坂東彦十郎

上上吉　沢村宗十郎

上上吉　坂東蓑助

上上吉　坂東三津五郎

上上吉　中村福助

上上吉　尾上松緑

上上吉　松本幸四郎

上上吉　坂東彦十郎

上上吉　沢村宗十郎

上上上 尾上梅ゞ丸
上上上 尾上多賀之助
上上上 尾上栄枝

▲南ろくまさ作のまゝまゝまゝまゝ丹前

上上上 坂東竹之助
上上上 大谷友松
上上上 浜村源平
上上上 尾上新次郎
上上上 浜村由次郎

浜村義次郎 市川芝三郎
市川音右衛門 坂東石松
浜村の名言郎 市川高右衛門
浜村義地蔵 坂東多義
中村音次郎

大三書　惣巻柏　浜村宗十郎

一度ホンでやく大物の全ヲ見ル

無類　一世一代　尾上菊五郎新

日本ホンニワとうのかゝ概

▲長順さんの一の秋

[illegible]　吉住小三郎　住田新七
[illegible]　冨士田右兵衛　住田新左衛門
[illegible]　市村小文次　冨士田右兵衛
[illegible]　冨士田千右　冨士田東蔵
[illegible]　岩井半四郎　冨士田左吉
[illegible]　芳村伊十郎　芳村伊左衛門
[illegible]　岩井紫若　岩井半四郎
〃　岩井粂三郎　岩井紫若
〃　岩井松之助　岩井粂三郎
〃　岩井松之助　岩井松之助

〃　岩井八十郎　岩井粂三郎
〃　岩井松之助　岩井松之助
〃　岩井粂三郎　岩井粂三郎
〃　岩井松之助　岩井松之助
〃　岩井粂三郎　岩井粂三郎
〃　岩井松之助　岩井松之助

狂言　作者

河竹新七
勝見てくり三
篠田宗六
川山田義次郎
河竹繁蔵
松本幸治
梅盛春助
篠田張助

小藤　[illegible]
[illegible]　西川已之助
[illegible]　西川芳次

▲在あるぞうの代

大上吉　尾上多賀蔵

こうぐさまあげくろうべの十郎

頭取　播磨屋大蔵

松本たい助

義経　河原崎権太郎

ささきの小三郎後の義経　義

雇元　河原崎権太郎

右文吏るろうくのろ一覧

ひのさ　花のおいらん　秋葉大明神　前月に同じ

長谷川伝次郎の前ろ文おとうとの義えく

別名　長谷川伝次郎　ながべのうえ　ながべのうえ

ながべのうえ　ながべのうえ　ながべのうえ

ながべのうえ　ながべのうえ　ながべのうえ

ながべのうえ　ながべのうえ　ながべのうえ

ながべのうえ　ながべのうえ　ながべのうえ

ひのさ　そんろう小紋の五郎小あん

ひのさ　そんろう小紋の五郎小あん

ひのさ　そんろう小紋の五郎小あん

[illegible]山相木世村大炊[illegible]大でき[illegible]く
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉　尾上松助

上上吉　中村芝翫

ひろさ 約四やさ四く四こ四出世ゆそ全年
一ゆ年ゆ八ヨヨ八く〜 ヨヨ八く〜 ヨヨ九 本ま丸ろゆ小坂
く本井ゆろと二坂池添孫七三ま小ろう歌打
きでお屑ゆろ大できくく六月安三淵ゆ小
おろのゆ分大できくくゆろ大茶や物の薬は
七月安夜小去坂ゆ人大できくく二ゆん月
年代ゆ坂ゆ分ゆ 元和 坂幸丈でお芳小
丈勇でお和ゆまゆ大芸のとろゆの九月迄
もつけゆのとろゆでろゆゆろゆゆろまくく八
ゆろね 寛九 九月ゆ年坂小ゆ今ゆ大できく
ゆろく大ゆ三ゆの薬判は大切の悪井八四
ゆろう歌人世ゆて変ゆ判ゆ代照ゆ今
ゆ〜 ひろさ 四ゆ四ゆ四ゆろゆさまゆろゆろく
四ゆ坂ゆの大ゆろゆ小ゆろゆゆろく四出
情ゆろんゆ八〜

上上上吉 坂東彦十郎

老人 世ゆ人八丈坂四ゆ三ゆの身縁ゆ小
の年ゆ四ゆて三名ゆてゆろゆ三ゆ彦十ゆ坂家
の孫ゆ坂ゆろの四安情殿四ゆ坂ゆろ
坂分大ゆ小ゆ和ゆさまゆく 寛九 きん年四出
情四人ゆの三淵村ゆ坂ゆろくのゆ坂小ゆ
ゆゆ坂ゆろゆ七八月六人四男小三淵ゆ丈病
ゆ三四人代小ゆ宅ゆ三坂ゆさまゆ三ゆ
元和 ゆ十ゆさゆゆ四ゆろゆ年ゆろゆ人ゆ
三淵ゆろゆゆ坂ゆ三ゆ判ゆゆゆゆく
寛九 歌丈世ゆ坂ゆ小坂ゆ三ゆ小紀ゆ三ゆ
ゆ三ゆゆ小ゆ人三ゆ大でき 元和 三ゆ四ゆ三
や坂ゆ十ゆゆゆ坂ゆ三ゆゆ坂でゆゆゆく

上上吉 沢村宇十郎

老人 文藏ゆゆ名ゆゆゆ人ゆ坂ゆ三ゆ三ゆ

ふさ子殿と夫を乗いれ出家く　八月三　乗光
中村殿もそいらく　おくれ　十二月の初
の女房つく　横ぬ　すると　仕事入れたらうく
教子世の乗修法　乗光　乗運　入れ
寺乗のおぞまとて　もうけまして
末書入れうお役らいろぶうちか

上上
上上十

尾上家養
浜村乗法

死ぬ　ふそ乗光入中村殿もおくれおれ
出家の　乗運　乗光　ぶくるのさまとて
出家の目出度ほどこう　ほんちうが第一
出家の一ふく

上上吉　大宮家養

ひねさ　イヨ　乗光　歌役の家ふを乗の
きうの　実乗　乗光　連中

そまふ入れ乗光　乗光　乗光
らく　死ぬ　乗光　乗光　乗光
三月　ふそ　ふそ　ふそ　ふそ
おもか　三役　大入　大でき　ふく
宮殿　乗光　乗光　乗光　乗光
く　八月　乗光　乗光　乗光　乗光
死ぬ　桃小　仕さま　坂ふ　乗光　乗光
年　坂ぬ　乗光　乗光　乗光　乗光
ひねさ　お角　乗光　乗光　大体　乗光
出りい　入でき　ふく　けまして　乗光
乗光　小乗　乗光　乗光　乗光　乗光
実乗　もう　仕ふ　ふ　乗光　乗光
二乗　ふ　乗光　乗光　乗光　乗光
九月　ふ　乗光　乗光　乗光　乗光
法眼　入れ　ふく　乗光　乗光　乗光

[illegible]

上上吉

[illegible]

沙尾[illegible]

[illegible]

[illegible]

りらのくにしにゞそくやくそりうくそれをゞ分外
ひろさ　ろくそや横ひろ　ひろ　日ろ　六千広
助たまえいとうびどうるうろさ　ひろ　新人世
ひの来俗たなあれてまうとよ夫でき〳〵
まづひ本まのりの〳〵

上上吉

横宮長左衛門

天人　外ろくまえをひの改あれて既人世
らりく〳〵　ひろ　来のあ手柱このお後ひひらう
ありく〳〵ひろ後のひおれひさこゞ年とう新
人世芳来小こ後の作つこ夫でき〳〵

上上吉

坂東長次
尾上長左衛門

ひろ　長ゞ丈の年りくの出世新人世芳
来ひ荒しまうと後深松のおひて長年
人ありくちそのの百性ひひくらうり〳〵

長ちら丈ひこ三百小廣純とろのだうり引
ゆまとの大できうく〳〵ろ出作ひの〳〵

上上吉

松本武兵衛
尾上梅次
沢村幸弥

ひろ　ゆまとの年りくの出作ひのくひあって
評判う尚新人世武ちゃ夫ひ見こ後新
長大で人後梅次ゆ年ひ丈ゆ見ってこうま
やの百性ひくらうり〳〵定めて初長ひあ
後、ゞひ人まりの

大上上吉

尾上梅幸

ひろさ　横こ後の世とのひあやまの定ひあ
とうやのちまさまりくこ年でおまうだろ
くり　中ま立連　八代目でも新の出やでもね
りくひ梅幸ゞりろちょりくうりやを本一わ〳〵

私共へいまようもひろまでかり手よ【図九】
未長作の方我小改ろう女房おそとん礼
の協ようえとこめへ飛るのとりごき改ろうて
ろんて来その若いひ協近大でき〳〵決れ不
作るの上ろう中分ひ【百百】百百の協おる弱
産大小あいたづしょう殺さるまでを多
の大でき〳〵五人月往ろう人ずれつぎ
六月参作花小室ろう長さ人さんでき
二役武ろう女房おろげ中分ひ【百百】のしく
けの世の協ぐえ就産文のわをとゆるぐ
ら人浮刺く切小たり寄ろうの作起ま
人死きまいるるく【百百の人】十六六年いぜん
大協で就保ろうきまる辰ろおろされ
中女飛であつくご長ろう文のりまろご
ろこの花出世でゆるあてぐろく【連中】を

年ひろの長女飛ぐこの長死ろもと
いふのもるくとろく協幸大おろうの
ろの小ろうきと年【百百】こく行が浜小女
飛ろあつくのでゆろうやくめこの作ろきれ
いる根飛ひ上ぐこあひろまのが【百百】年ゆく
相七月無長小浜飛女房おるう大でき〳〵
二役ろう武ろ長花ろを小て月代ろうんこの長
小年産の大でき二ろんめ新小ゆ根ろう
茶ろ協ろう大切ゆろう上ろう張中分ひ
九月ろ年協小ぐろ作ぜん参協ろ市
長切協ぜん協世ろ小ろ役いおを小人ゆく
【百百】ろ協小女ゆはこ三きまるく弱小新ぐ世の
ろうねんでめでろるく【百百】黄ゆ小三ろ月
ひ人だんまろ上ろう協ぐ長協工文新協作小
て新ゆ大協市大ろの長世り大でき協小八人

はかりえもいはぬ大ぜい集りかゝる稽古の花ゆゑ
はくの代稽古の早替りは大ぜいくれ分にて
[illegible]るゝやのの代にうまいぐさて外さ
世話の人世の加減多くはくらうゝ[illegible]
[illegible]えもいはぬいろげあつてゐるを外さう
又稽古はかりのうちこのれはこのようなぐ[illegible]
ぐまつていろ[illegible]ようくできるを嫌がで
きぬの切れはこの茶やの[illegible]ふるあ
のようなをけのを女房は自分のだうなさ
せるのぐりるのぐれ[illegible]
はものとものでうまぐかりくかつしく[illegible]の
[illegible]るもよくいろとはりとまを外て[illegible]
新り人世の評判るくざんねんくれをい
りろくくまりのヨイくくヨイくくる羽やく

上上吉　市川新車

[illegible] イヨまる拍子の[illegible]
[illegible]さんくはは出世で
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]

元文年中にて松ヶ浦の花魁夜小袖紋女房となる三枚目のあらまほしきもの

[ひいき] 松ヶ浦の花魁伝てかり来ぶりのやく

上上吉　市川宗三郎

[大ばんぐみ] 太夫ぶりの大夫ぶりの世話ぶりにて太夫ぶりにて

ぶり市紋小袖のこまやかにてこれぞ

らく [ばんづけ] 伝の役もよく仕とりたるまことの女

房元文の色を小入てその色を年新入せ芳年

小袖は女房ぶりる二枚とも大ぶりきく [ひいき]

今小大ぶりのの伝紋

上上吉　尾上梅三郎

[ひいき] 世ぶりてうをうるみるる紋でもあるきるが

いろけぶりのくてぶんねんく [ばんづけ] 新うん世ぶり

永さ〜るお役はとろめ小ぶりの梅の妻

長所ぶりにいせうあその紋大ぶりきく

今のぶり小ぶり紋世ぶりたげこのく〜

上上上　松本小さ

上上上　小佐川三郎

[ひいき] 男ぶりの太の伝ぶり見小さ大ぶりさ

ぶりの役のことはしぶ伝ぶり紋ぶりてこう所

ぶり女敵ぶりさもおぶりく今小ぶりぶ〜えの

役も中老小のぶりまぶ [ばんづけ] こうく新

ぶりてこげこのく〜

大上上吉　沢村宗十郎

[ひいき] 元のぶりぶ紋ぶ紋ぶ作ぶ〜ぶでん

女中のひいきぶりする紋の役やの紋ぶく

[丁の立達] ヲヤ中さの女中ぶりぶりやぶのいよ

所でもしんみ約ぶひいきぶでぶりぶよ

[ひいき連] ぶぶぶく役ぶ中さぶ丁さものく

ぶやひいきぶく〜さんぶ [ひいき連] この紋十年

のもとにそふでもむつこぶ世せろハ人をぶ
うとしの[弘化]年ぶく赤の表市村庄屋
ぶ和そぶれ八幡の三ぶ宮八赤浜十内柿の
上市めその出張小業ぶ天の小業ぶと花地
ぶ発ぶ大ぶてぶ彩りめて橋ぶ派ぶう小ぶり
藤のぶりめてぶうぶ大ぶ部橋ぶとのだんまり
大ぶきく対面小祐庄ぶ三ぶ人月
ぶん久[安政]世紀ぶ上ぶこの新面ぶ記ぶ金
ぶまどに名の浜小金ずぶぶとの表月あぶを
ぶとときて弾ぶの一[弘化]ぶうあぶ一月小旬
小彩り屋上ぶ名ぶ安浜ぶの松ぶと業ぶと
の初板弾判ぶく大ぶりく軍ぶ屯橋ぶ
文ぶの三ぶ名ぶ彩りぶの小ぶ小彩りぶて
弾ぶ小月先代ぶ業ぶ小ぶり業ぶのぶ
ぶ多ぶく人一弱川ぶ名ぶ落めてぶさ板ぶ

つまぶ下絵ぶ彩ぶぶのぶんまり[天保]ぶて
小ぶぶてぶ名ぶ板ぶのぶいぶんぶ人月小ぶさ
[弘化]ぶでん板ぶ名弾ぶう武ぶ上ぶる弾ぶ
一切小ぶ一和ぶ板ぶぶぶ弾ぶう[弘化]
まぶぶぶ天物ぶぶり[天保]ぶぶぶ
ぶぶぶ[天保]七月武ぶ小月ぶ業ぶ
橋ぶ天ぶん小彩ぶぶぶぶぶぶ
玉ぶ遠ぶぶて絵ぶぶ彩ぶの出ぶぶぶ七
実ぶ業ぶぶぶ上張ぶ上橋ぶて入ぶぶぶ小
板切ぶの出ぶぶ小ぶ波ぶの性板ぶく[天保]
ぶぶんのぶぶんぶぶ八十年絵ぶぶん発ぶ
ぶて弾ぶ[慶]通ぶ又ぶ発ぶ六十三波ぶ十三
年ぶ小ぶぶ[慶]ぶぶ和ぶ伝ぶく遠ひ大
南ぶく[天保]九月浜日小白橋十右ぶ業
ぶ切ぶぶ名ぶ浜ぶの名弾ぶまぶ弾ぶ右ぶ

村落とも傍示人の新食大でき〻く【ひろき】
治承寿永度人出和新之世の後ひかの大〻
ホ〻ものヨ〻〻〻ヨ〻〻〻【ヨ〻〻】和貝ハ〻ヨ
ゞ〻ハ〻の〻ひ村田ひ〻ハ〻ハ〻ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ホトトギスの八代目の秋つ髪がうけでのりて
いるのゞ二度ホ年人目ゞ彩りてようろこび居る
ゆゝごと人出でも社況様ゞ 既 六月彩色ホ
年をつ大でき〳〵ろ本歌頃ヤ分色分丸
人間ホ花鉢市をつがるホ入るゝ 陣中 琴笑
ホ岩彩をつ大体判く切紅ホ実ゆり初
ゞろつ大でき〳〵 ゆき 長ろう長迫ゆまを体
判ろ〳〵ゆのでゆきまでもとあゝく ひゞ 沼の
をつホあけとゆゞ彩ホ底 ゆき 歌人世ホこと
へつ彩和と思ひの外体ホんでざんれんくらゆゝ
大坂人まつゆりでもあるまゝ ひゆき 名称でも
ゆきまでろつ語りゆきれお歌の姿でゆ彩く

弘化五年
戊申 の初春

撰者 七文舎
鬼笑

渡者巻三年 終